



## 2018年度 忠生地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2018年10月29日 (月) 18:30～20:30

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦  
忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

#### ○連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人 (5分)

#### ○市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一 (5分)

#### ○職員の紹介

(5分)

#### 第1部 地域の要望に関する意見交換

(50分)

- 1 町田市リサイクル文化センター隣接の資源ごみ処理施設の早期移設  
【環境資源部】
- 2 忠生バリューアップの実現を次期長期計画への計上  
【環境資源部】
- 3 モノレール延伸の導入空間となる道路の都市計画決定の早期実現  
【都市づくり部】
- 4 小田急多摩線延伸と小山田新駅計画の促進  
【都市づくり部】
- 5 防災対策の強化  
【防災安全部】
- 6 境川洪水対策  
【下水道部】 【防災安全部】
- 7 小山田小学校の移転と155号線の整備  
【学校教育部】 【道路部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告 (50分)

#### ○閉会の挨拶

(5分)

閉会挨拶 忠生地区町内会・自治会連合会 副会長 佐藤 臣一

2018年度 忠生地区町内会・自治会連合会 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2018年10月29日 (月) 18:30～20:30

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 石阪市長

防災安全部長 篠崎

下水道部長 大場

環境資源部長 水島

環境資源部循環型施設建設担当部長 田中

都市づくり部長 神蔵

道路部長 福田

学校教育部長 北澤

政策経営部広報担当部長 若林

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部市民協働推進課担当課長(地域担当) 西澤

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部忠生市民センター長 皆見

市民部市民協働推進課(4名)

忠生地区町内会・自治会連合会会長 ほか33名

司会進行：市民協働推進担当部長

忠生地区町内会・自治会連合会会長

### ○地区連合会長の挨拶

皆様、こんばんは。お忙しいところをありがとうございます。それから、市長を初め各部の部長さんには、大変お忙しいところをご参加いただいて、厚く御礼申し上げます。

この市政懇談会は毎年やっているわけですが、忠生地区は少し出す問題が多いのではないのという声もございます。ただ、忠生地区はやはりいろいろな課題を抱えている地区だということで市にはご理解いただきたいと思えます。ここに出した問題については、いずれの問題につきましても本当に常日ごろからこの地区の皆さんが、どうなるのだろう、どうしてほしい、やはりこの方向ではないかということで議論を重ねた結果ですので、今日はひとつそこら辺の議論を深めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

## ○市長の挨拶（町田市長）

皆さん、こんばんは。冒頭、大変申しわけございませんでした。東京の高輪から飛んできたので、首都高が動かなくて、2時間以上前に出たつもりなのですが、それでもこの時間になってしまいました。何の会議に出ていたかというところ、国連のユニセフ日本委員会主催の会議で、子どもにやさしいまちづくりということで、日本の全国の自治体の中で5つの自治体が選ばれました。ユニセフのヨーロッパ事務所、ジュネーブなのですが、そこから副局長の方に来ていただいて、パネルディスカッションをやれと言われて、ニセコ町や奈良市など、5つ選ばれたうちの1つが町田市で、ところどころ副局長が英語で話したりするので、同時通訳を聞いたりして、英語が大変不得意なので少し頭が痛くなりました。それにしても、日本の中で子どもの施策について非常に熱心に取り組んでいるということで選ばれたので、それはそれでユニセフからの評価ですので大変ありがたいことだと思います。今日は、冒険遊び場だとか、いろいろなことの話をしてきました。というわけで、大変遅くなりまして申しわけございませんでした。この市政懇談会は、話題が多いのではないかとありますが、第2部で市政報告をいたしますが、7つありますので、それで時間がかかれば私のほうの2部はその分圧縮します。どうぞよろしく願いいたします。

## ○出席者の紹介

### 第1部 地域の要望に関する意見交換

#### 1 町田リサイクル文化センター隣接の資源ごみ処理施設の早期移設

町田リサイクル文化センターに隣接する既設のビンカン処理施設を資源ごみ処理施設の稼働目標年度までには移転し、基本方針である分散化を確実に実現すること。

そのためには、計画されている相原及び上小山田の進捗状況に応じて計画の抜本的な見直しも視野に入れ調整を図ってください。

#### 【回答】

#### 循環型施設建設担当部長

相原地区及び上小山田地区に計画している資源ごみ処理施設について、目標年度である2020年度に稼働ができないことを、大変重く受けとめております。

当該施設整備については、2018年3月に公表したとおり、稼働目標年度（相原地区2025年度、上小山田地区2027年度）を見直したところです。

既存の瓶缶処理施設の移転につきましても、資源ごみ処理施設整備の稼働

目標年度にあわせて進めてまいります。また、施設整備に向けて、これまでと同様に分散化を前提とし、引き続き協議を進めてまいります。

今後も、精力的に施設整備と周辺まちづくりを進めてまいります。

## 2 忠生バリューアップの実現を次期長期計画への計上

まちだ未来づくりプラン、及び次期長期計画（2022年～）の前期5年計画に、忠生バリューアッププランにもとづく各整備計画、特に峠谷地区および旧埋め立て地の具体的整備事業を盛り込むよう早急に検討を進めて下さい。なかでも特に早期整備をお願いしている旧埋立地の交通公園及び峠谷地区のソフトボール場等のスポーツ公園については、初年度から整備事業費を盛り込んでいただきたい。また同時に2020年に全面改訂が予定されている都市計画マスタープランにきちんと盛り込まれるよう必要な計画作成を前倒しでお願いいたします。

### 【回答】

#### 環境資源部長

「忠生地域・バリューアッププラン」を踏まえて市が行う各事業につきましては、「町田市忠生地区ごみの資源化施設周辺地域整備推進検討委員会」において意見交換を行わせていただきながら事業化に向けて検討いたします。

中でも、「忠生地域・バリューアッププラン」の重点項目である池の辺、峠谷地区及び旧埋立地の上部を利用したスポーツ公園等の整備につきましては、段階的に事業を進めてまいります。

先行して整備を進める池の辺地区においては、「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、2021年度の完成を目指し計画的に進めてまいります。

峠谷地区及び旧埋立地については、「町田市忠生地区ごみの資源化施設周辺地域整備推進検討委員会」において意見交換を行わせていただきながら、町田市都市計画マスタープラン及び町田市の2022年度以降の計画に位置づけるために、市として考え方を整理していきます。その上で、事業スケジュールを示し事業化に向けて取り組んでまいります。

## 3 モノレール延伸の導入空間となる道路の都市計画決定の早期実現

多摩市南野から小山田桜台通り北端に至る部分は、導入空間となる都道の都市計画決定がいまだに実現されていません。先般1万名以上の忠生地区住民の署名を集め、東京都知事に陳情しましたが、「町田市と協力して実現したい」との都知事の回答もあり、市としても東京都と力を合わせて、道路計画が一日でも早くできるようにお願いします。

## 【回答】

### 都市づくり部長

多摩都市モノレールの導入空間となる道路の都市計画決定につきましては、現在、東京都と協議を行っているところでございます。

多摩都市モノレール延伸の早期実現のため、本道路計画について東京都との具体化に向けた協議を加速してまいります。

## 4 小田急多摩線延伸と小山田新駅計画の促進

このたび「小田急多摩線小山田駅早期実現協議会」が近隣の町内会、自治会が協力し発足しました。神奈川県や小田急にも積極的に働きかけを行ってまいりますので、町田市も積極的に推進活動をお願いします。

## 【回答】

### 都市づくり部長

小田急多摩線延伸の早期実現のためには、地元の方々との連携が重要であると考えております。小田急多摩線小山田駅早期実現協議会などの地元組織と、今後も協働して取り組みを進めてまいります。

小田急多摩線の整備手法としては「都市鉄道等利便増進法」による整備を想定しております。この「都市鉄道等利便増進法」を活用するためには、30年以内に累積収支が黒字化し、事業採算性を確保することが原則となります。

現在、相模原市と連携し、学識経験者、鉄道事業者、国土交通省、東京都、神奈川県、多摩市等の関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」におきまして、30年以内に累積収支を黒字化し、事業採算性を確保するための検討を行っており、今年度中に検討のめどをつけていきたいと考えております。

今後も引き続き、地元組織の方々とは協働しながら、小田急多摩線延伸の実現に向け、取り組みを進めてまいります。

## 5 防災対策の強化

### ①私立校の避難施設指定

町田市で大規模災害が起こった場合、避難施設が大幅に不足しています。従来からお願いしているように、日大三高や桜美林大学等への働きかけを強めていただきたいと思います。

### ②食糧備蓄の増強と飲料水備蓄の強化

2016年の熊本地震でも今年の西日本豪雨でも物流網が回復するまで一週間かかっています。町田市の3日分の備蓄では不安です。一週間の備蓄を目指していただきたいと思います。

飲料水については、プールの水は飲み水としては不適合としている自治体があります（相模原市など）。飲み水の確保について検討してください。またプールの水に頼るならば、通年の水確保と濾水器の定期点検等をきちんと行い常時動かせるよう整備しておいてください。

### ③支援物資配分についてどう想定しているのか

過去の災害において、各地からの支援物資が避難者のもとへ届かず、物資の集積所等に山積みになっている事例がみられます。こうした状況が発生しないよう、町田市においては、支援物資の配分の仕方や受け取り手続きについて、整備するとともに明確化をお願いしたい。

## 【回答】

### 防災安全部長

#### ①私立高の避難施設指定

町田市では、市立小中学校や都立高校等を震災時の避難施設としており、桜美林学園や日大三高に関しましては、避難広場としての利用に関する覚書を締結しております。

避難施設としての利用につきましては、2017年度まで定期的に両校と打合せを実施しており、2018年度につきましても10月に両校と協議を行いました。が、学生、生徒が遠方から通学しておりますので、公共交通機関が不通になることを想定し、生徒の避難や安全確保等の理由から合意には至っておりません。

今後も両校に対し働きかけを行ってまいりますので、ご理解いただければと思います。

#### ②食糧備蓄の増強と飲料水備蓄の強化

町田市では災害時の避難者の物資として、東京都の想定する避難者数9万2758人分の食糧とペットボトル飲料水を、東京都の定めた「避難所管理運営の指針」に基づいて備蓄しております。

食糧につきましては、各避難施設において、主食用としてアルファ化米とビスケットを合わせて避難者1人当たり3日分を備蓄しております。また、飲料水につきましては、各避難施設において、避難者1人当たりペットボトル飲料水を1.5L備蓄しているほか、それらを補完するものとして、浄水場、給水所、応急給水槽などの水道施設が、お住まいからおおむね2kmの距離内に1カ所、災害時に飲料水の供給を行う「給水拠点」として配置されております。この給水拠点からおおむね2km以上離れた避難施設等については、給水車等の車両輸送による給水を行うことになっております。

これに加えて、大きな地震が発生した際に断水しないように、東京都水道局が市内避難施設周辺の給水管耐震化工事を行っており、学校敷地内分については2019年度までに整備が完了する予定となっております。なお、忠生地

区につきましては全小中学校において既に工事が完了しているとのことです。

この耐震化工事に合わせて、現在東京都水道局と各学校の敷地内に応急給水栓を設置し、消火栓からの応急給水と同様に給水できるように協議を進めているところです。

また、プールの水につきましては、マンホールトイレの排水等の生活用水としての利用を主に想定しております。ろ水機の点検につきましては、委託業者による年1回の定期点検に加え、避難施設開設訓練の中でも実施しております。

### ③支援物資配分についてどう想定しているのか

町田市では、「町田市地域防災計画」の中で、大きな災害が発生した際に他自治体等から送られてくる支援物資を、物資集積所である町田市立総合体育館で受け入れ、保管、仕分け等を行うこととしております。

物資集積所から各避難施設へ効率的に支援物資を分配するためには、在庫管理や輸送手段の確保が必要と言われておりますが、ご要望の中でも紹介された一例として、熊本地震の支援で現地に職員を派遣した東京都からは、相当量の支援物資を受け入れても、管理や輸送する体制が十分ではなく、多くの支援物資が避難者に行き渡らないことがあったとの報告もございました。

こうしたことを受けて、2018年8月に町田市は、物流業者であり、東日本大震災等での災害対応経験もある「ヤマト運輸株式会社」と協定を締結し、町田市立総合体育館における災害時の在庫管理や各避難施設への輸送体制の強化を図りました。

各避難施設へ分配した支援物資を、施設内で避難者等にどのように配布するかにつきましては、地域の皆様、学校職員等の施設管理者、市職員の3者による避難施設関係者連絡会で話し合っていたいただき、「避難施設開設・運営マニュアル」にも記載し、情報共有していただいている避難施設もございません。

今後、各避難施設が「開設・運営マニュアル」に記載する際には、2018年9月に町田市町内会・自治会連合会の安達会長からご報告いただいた「町田市町内会・自治会連合会 避難施設運営モデルマニュアル」に物資調達や配布の方法などがわかりやすく記載されておりますので、こちらを参考に、避難施設関係者連絡会などで地域の皆様に相談させていただきたいと考えております。

## 6 境川洪水対策

最近境川では豪雨のたびに避難情報が発せられています。境川の50mm未対応区間の整備の促進、特に神奈川県担当部分の整備についての、同県との協議の加速をお願いします。特に両国橋～根岸橋間の護岸川底の掘下げ等の整

備と山根橋に水位監視モニターの設置をお願いします。また共和橋～宮前橋間の土嚢設置をお願いします。

洪水ハザードマップを改訂し、水深区分をより細分化し、効率的な非難を実行できるようにお願いします。

また、境川氾濫による浸水時の救助のために必要となる浮き輪やボートなどの配備を進めていただきたい。

## 【回答】

### 下水道部長

境川の整備要望について、10月10日に神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターに赴き、直接要望事項を伝えてまいりました。

まず、両国橋から根岸橋区間の護岸川底の掘下げ等の整備につきましては、境川は、全体的におおむね30mmの降雨に対応するよう流量調整をしている状況です。一部を掘り下げると、下流域への影響が出ることから、下流の流下能力が確保できるまでは、掘下げは困難であるとの回答でした。しかし、土砂等の堆積により、30mm断面より小さくなり、流下能力に支障を来している箇所については、随時、しゅんせつを行い、断面確保に努めているとのことでした。

次に、山根橋に水位監視モニターの設置につきましては、河川の増水を水位計等で監視し、危険を早期に予測するには、山根橋よりも上流に設置されている水位計を確認することが有効であるとのことでした。忠生地区より上流にある境川の水位計は、直近では、「高橋（たかばし）」にあります。その上流ですと、小山地区の「昭和橋」、相原地区の「風戸橋」に設置してあります。また、カメラ画像で境川の状況が確認できるのが、高橋付近、寿橋付近、風戸橋付近になります。いずれも、神奈川県のホームページ、「神奈川県雨量水位情報」で見ることができます。忠生地区ですと、上流の昭和橋、風戸橋の水位を確認し、忠生地区の水位が上昇する前に避難を考えていただくのが、有効であるとのことでした。

次に、共和橋から宮前橋区間の土のう設置につきましては、境川は、全体的におおむね30mmの流下能力で調整しているため、新たにかさ上げすることは考えていないとのことでしたが、土のう設置要望箇所の共和橋から宮前橋区間につきましては、現在用地買収を進めているとのこと、用地買収が完了したところから順次、護岸整備を行っていくとのことでした。

市としては、今年1月、相模原市とともに、神奈川県庁に赴き、副知事に整備要請を行っております。今後も、引き続き、河川管理者に対し、町田市民が安心して生活できるよう河川整備の要請を行ってまいります。

### 防災安全部長



町田市の洪水ハザードマップは、東京都が公表した浸水予想区域をもとに作成しております。

2018年度に町田市内を流れる境川及び鶴見川の新たな浸水予想区域図が公表されたことを受け、町田市では2019年度に配布する新たな洪水ハザードマップの作成に向け準備をしているところです。公開された新しい浸水想定区域図は、浸水深が今までの4段階表示から6段階表示となっており、従来は「2m以上」となっていた表示については、「2.0mから3.0m未満」、「3.0mから5.0m未満」、「5.0mから10m未満」の3段階となり、より細かく表示されていることから、新たな洪水ハザードマップについてもこれらを反映して作成いたしますので、従来よりも詳しくお知らせできるものと考えております。

境川増水による浸水時の救助のための資機材については、有事の際、救助活動を行う町田消防署に3艇、町田市消防団に3艇の救命ボートを初めとする水難救助資機材がそれぞれ配置されており、これらを活用した救助を想定しております。

この他、多摩地区には、東京消防庁が水難救助活動の専門部隊や急流救助の専門部隊を計5隊配置しており、市外からも応援に駆けつけ、ヘリコプターなどと連携した救助活動を展開するとのことです。

このため、浸水区域の救助活動については、消防署、消防団等によるものを想定しており、救命ボート等の水難救助資機材については、自主防災組織に対しての配置は予定にございません。

#### (司会) 地区連合会長

途中で済みません。ハザードマップの配付はどれぐらいの時期になりそうですか。

**防災安全部長** つい先ごろ東京都から紙が来まして、今後、電子データの提供を受けますので、明確にいつということは申し上げにくいのですが、恐らく来年度の後半には皆様にお配りできるように準備したいと考えております。また詳しく決まりましたら地域の皆様にお知らせすることになると思いますので、そのときにはよろしく願いいたします。

#### 7 小山田小学校の移転と155号線の整備

小山田小学校近辺は土砂災害特別警戒区域に指定されています。集中豪雨はもちろん、今回の北海道地震でも斜面の崩落が発生しました。裏山が崩れると、小山田小学校は壊滅します。簡単な砂防工事では大規模な土砂崩れは防げません。幸い小学校裏山には学校用地として造成可能な広さの土地があります。ぜひ、これを取得し学校の移転を計画してください。学校を移転す

れば従来から懸案となっている都道155号線の拡幅ができるようになり小山田新駅のルートとして利便性が格段に向上します。

## 学校教育部長

小山田小学校では、2014年度に校舎北側に位置する山の斜面の一部が特別警戒区域に指定され、その影響範囲が北校舎内の廊下まで及んでいることがわかり、2014年度に緊急の安全策として、北校舎と既存の擁壁の間に緊急防護壁を設置し、窓ガラスの飛散防止措置を行いました。その後も児童や学校関係者、施設利用者の安全確保と特別警戒区域の指定解除を目的に東京都と対応方法などの調整を続けてまいりました。

指定解除の方法については、斜面をコンクリートで補強するなどの工法ではなく、学校周辺の景観と調和し自然環境にも配慮しながら斜面を安定させる工法として、治山対策や急傾斜地ののり面補強などで施工実績のあるユニットネット工法を選択しました。

2017年度に実施した工事では、約855㎡の斜面に長さ3mくいを512本打ち込み、そのくいをワイヤーロープで網目状につなぎ、大きな網（ネット）で斜面全体を押さえることで崩落防止を図っております。

この工事によって、2018年3月に特別警戒区域の指定解除の申請を東京都に行っており、2019年度中には指定が解除される予定です。

以上のことから、小山田小学校の移転を計画する予定はございません。

## 道路部長

「都道155号線の拡幅について」お答えいたします。

都道155号線の小山田小学校前は、大型車両同士のすれ違いが困難な場所がございます。車道の拡幅について南多摩東部建設事務所に要請を行っております。

（本日29日にも、木島副市長が南多摩東部建設事務所に伺い、小松所長に強く要請してまいりました。）

また、忠生579号線の函師方面への延伸（小山田バス停から都市計画道路3・4・40号線までのⅡ期工事）については、2027年度の全線開通を目指してまいります。

## 《質疑》

### 下小山田町内会

下小山田町内会の〇〇です。

皆さんの質問の最後にやろうと思ったのですが、ほかの人の手が挙がらないので。幾つかあるのですが、まず、最後の7番目の議題の小山田小学校、確かに暫定の処置はされたと思うのですが、やはり基本的には今の集中豪雨

等を考えると、とてもではないけれども、あれで解決できたとは思っておりません。

あと1つ、忠生155号線、バス道路が小山田にとって一番重要な道路でして、あれがないと、今バスが通ったときには乗用車もとまっていなくて交差できないような状態です。あそこについては2015年にも町田市長の回答で、2027年度までには整備をやりたいとなっていますが、2027年というところとすぐ近いところで、担当する道路部にお聞きしても線形も全く決まっていない、東京都にもやっと今日要望したのかなという感じですが、その前にも事務局同士の経過はあるのですが、まず小田急多摩線の延伸も採算性が一番問題となっていますが、やはり道路を広げることによってバスがすれ違いをして、近隣の方が小山田駅を目指して、通勤通学などに使えることになれば、当然採算性に直結する内容ですから、まずその道路を、579号線が終わった後の第2次と言っていますが、うわさで聞くと、579号線もいつになるのかなと、ごみの資源化施設が2020年から27年に延びたのも、本当に実現する可能性があるのかという非常に疑問に感じます。

ですから、579号線の後でなくて、もう今から、特に都市計画道路3・4・40号線、大泉寺前から小山田小学校までの特別狭いところだけでも早期に測量を来年度にでもやって、町田市は2027年の目標に向かってやっていることをぜひ具体的に示していただければ、この辺の住民としては非常に安心するところです。そんな無理な要望はしませんが、市役所がするということがわかれば、それから進むのだということになるので、ぜひ来年度の中でモノレール路線の導入空間と同じように、実際の道路工事については東京都がやるにしても、その線形等は町田市で準備して、それに基づいて東京都で施工してくれと。とはいいいながら、今までの回答をいただくと、東京都の回答ではなくて町田市で27年を目指すということは、その奥の細い道も、バスの折り返しから多摩に通じる道も、都道だけでも町田市がやりますという計画で既に皆さんに公表されています。そういうことですから、今の危険なところについて、ぜひ早急に計画を住民にわかるように、よろしく願いしたいと思います。

それと、モノレールの導入区間について、先ほど連合会会長からも話がありました。1万1000人を超える署名を集めて東京都にお願いしている路線は、前々からうわさされている計画路線をやってほしいという内容です。うわさに聞くと、鶴川地区の今度の市政懇談会では、某何とか議員さんが言っている、あちらを推薦しろということで、連合会同士で意見が違っていると問題なのですが、今までの計画どおりに進めていただくことが、あの1万1000人の署名の根本ですから、その辺について、市長からそのとおりにやるということをごぜひ本日表明していただければと思います。よろしく願いいたします。

## 町田市長

モノレールについては私からお答えします。実は先日、勉強会というのか、打ち合わせ会議で、市民協働のほうに鶴川地区から野津田公園駅をつくれという要望が来ています。今度、市政懇談会が鶴川であるのですが、その場はもちろん私が出て、それについては明確に否定します。その路線はやりませんということはいいます。その話を明確に否定しないと、いつまでも決まらなくなってしまうので、これは東京都の都市整備局の判断にも影響を与えてしまうので、市政懇談会の場で私から、今我々が進めているのは野津田公園駅ではないと言います。それは先に言ってしまっているのかわかりませんが、前もって言うておきます。

## (司会) 地区連合会長

ありがとうございます。その話を聞いて我々も一安心ですので、よろしくお願いします。

それから、先ほどの学校の件ですが、特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンは外れたかもしれませんが、イエローゾーンはまだ外れていないのではないかと思います。そういった意味から、どうも抜本解決にはほど遠いのではないかと、我々は実際に利用する立場から不安を感じているわけですが、その点はいかがでしょうか。

## 学校教育部長

イエローゾーンについては、指定するときに土地の形状によって一律に指定がされてしまいます。今回の小山田小の裏の斜面については、傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域については必然的かというと、土地の形状でイエローゾーンと決まってしまうので、その後、今回みたいに対策を打ったとしても、形状だけで一律に指定が残ってしまいます。

## (司会) 地区連合会長

そこら辺、先ほどの広報の話も含めて、できたら再度機会を設けて、住民が安心できるような形でご説明いただければと思います。

それでは、先ほどの道路の件について、道路部長、よろしくお願いします。

## 道路部長

都道155号線の関係ですが、まずは会長が言われました小山田小学校から大泉寺までの間、今一番狭いところについては、今日も東京都に行きまして、とにかく暫定でもいいから広げてくれという話をしています。そして、忠生579号線の2期工事は上小山田のバス停から16mの高規格の都市計画道路相

当の規格の道路になるので、これで最終的には大泉寺のところも都道で今つ  
くっている3・4・40号線につなぐことで考えています。最終的な形は579の  
2期工事で整備をしたいと考えていますので、まず東京都で暫定的な拡張工  
事をやってほしいとお願いしてまいりました。

#### (司会) 地区連合会長

ぜひこれもあそこの地区に住んでいる人の昔からの願いですので、早期に  
お願いしたいと思います。

#### 根岸町内会

根岸町内会の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

6番目の境川洪水対策についてお尋ねします。私どもの町会は境川と大変  
関係して発展した町です。両国橋から新中里橋までが私どもの町内の区域で、  
約1km近くあります。町内全体で3000人、1300世帯いるのですが、おかげさ  
まで忠生地区の土地区画整理事業は町内丸ごと入っていて、しっかりした整  
備ができて、整然とした町並みができていることはありがたく思ってい  
ます。

その中で、町民の方が、境川は、昔は氾濫したけれども、護岸も整備が進  
んだということで、50mm対応ということで安心していただけです。ところが、  
3年前ぐらいのハザードマップを見ますと、ちょうど根岸のあたりが、特に  
すり鉢型で低いところが根岸橋、それから山根橋、あの辺が一番低いので  
すが、そこを中心に、洪水があった場合、2m以上浸水するということが大  
変心配しておりまして、実際、一昨年台風9号や昨年台風21号のときに町  
内会で集まって、昼間の対応のときに見て、あまり雨量がないのに、あと30cm  
ぐらいで洪水の心配があるという怖さを知りました。

それで、根岸橋から上は神奈川県管轄ということで、護岸工事を2年に  
1回程度やっています、その内容はよくわからなかったのですが、実は今  
日も、今年11月から来年6月まで護岸工事をするということで、実際の  
ような護岸工事をするのか内容を説明していただきましたら、基本的に60  
mm対応の護岸工事を進めているというお話でした。根岸橋から山根橋にかけ  
て少しずつですが、大体進んできたという状況。ところが、その工事の断面  
図を見ますと下のほうが盛り土されていて、30mm対応のままということで、  
工事を新しくしても従前と同じような30mm対応ということで、先ほど部  
長の説明がありましたが、下に流すと神奈川県藤沢市や大和市があふれて  
しまうので流せない状況があるそうです。予算も限られているから順番にや  
っているということです。やっていただくのはいいのですが、現状のまま  
だと、実際に30mmになったときにあふれてしまうということで、早急に何か、  
例えば40mm対応とか、少しでも流していただくと、あと30cmの心配もなくな

るのではないかというお話もさせていただいたのですが、そういうことをぜひ市からも県にお話ししていただくとありがたいと思っています。

実際、ハザードマップが、先ほどの部長の説明ではより細かくなったということはすごく朗報でありありがたいので、ソフト的な避難の方法もこれから考えていく方策の1つなのかと思うのですが、今、よくわからないのですが、国で水害時の防災対応計画、タイム何とかというのがあるのですが、それは町田市では4割程度しかつくられていないということで、そういう対応はされているのか。避難準備情報と避難指示と避難勧告が出てくるのですが、それはどこの時点でどういう場所からメールで送られてくるのかよくわかりません。系列的に市がどういうことをやってくれるのか、住民はどういうことができるのかははっきりすれば、当然市と、市民協働の防災対策ができると思うのです。今度できるマップの中にそういうものを書き入れていただく、別な方法でもいいのですが、前はそこの中に書いてあるというお答えでしたが、避難場所や水位の情報は確かにあるのですが、行動マニュアルがなかったので、そういうものを入れていただければありがたいと思います。

## 下水道部長

神奈川県から説明があったということですが、先ほどもお答えしたのですが、残念ながら下流といいますか、藤沢のほう、例えば、東京都管理区間は根岸橋から鶴瀬橋という都県境までですが、東京都の護岸はほぼ完成しています。ところが、下流の神奈川県側ができていないことにより30mm対応という形で、ところどころで意図的に土で盛ったりしている状況があります。それがどんどん上流に行きまして、今、護岸整備をやっていて60と言ったのですが、50mmではないかと私は思っています。流域で10mmという捉え方もあるのですが、神奈川県が60mm、60mm断面にしても、断面図をご覧になったと思うのですが、やはり意図的に盛り土しまして30mmという形にするということです。

ただ、先ほども申したように30mmを切るような断面になるともっと危険になるので、それは神奈川県もそういう断面調査をしているので、きちんと30mmを確保していただくということを伝えていきたいと思えますし、東京都のほうも、皆さんのいらっしゃる下流になるのですが、最近、川の中に木が生い茂っているのをご存じでしょうか。それをかなりの本数伐採しております。それは30mm断面を確保できていないということでやっていると思えます。ですから、その辺のところを、少し足りないかもしれませんが、30mmはきちんと確保することで強く要請していきたいと思っています。

## 防災安全部長

〇〇会長からは提案もいただきまして、どうもありがとうございます。ま

ずタイムラインについてです。タイムラインというのは、災害が起きる前にあらかじめどのぐらいの気象条件や水位になったらどのように行動すべきかを想定しているものです。町田市は他市と比べて、避難準備・高齢者等避難開始の情報や避難勧告は近隣の自治体よりは早目に、しかも多く出す傾向にあります。これはなぜそのようになっているかという、私どもはタイムラインを定めておまして、どれぐらいの条件になったら出さなければいけなさを予め決めておりますし、あと、会長が先ほどお話しされたときにも、なぜか大雨は夜降ることが多いとことがあります。垂直避難などもあるのですが、避難が必要になる時間が、例えば深夜だとか未明になった場合に、そういう真夜中に、特に高齢の方や小さいお子さん連れの方は、その時間から避難することが危険ではないかということで、気象庁から来る情報で真夜中に避難が必要になるかもしれないときには少し早目に、暗くなる前に出すようにしています。そういうものをあらかじめ決めておくのがタイムラインでございます。

ただ、内部でそのようにやれば市民の皆様に情報が届くというものではあるのですが、現時点では、市としてはタイムラインそのものを載せると市民の方には細かすぎてわかりづらいのですが、どのような条件になったら市民の皆様にこういう行動を呼びかけますというお知らせが、今ご提案いただいたように、私も少し不十分かなと思いますので、今後工夫していきたいと思っております。

ただ、新しいマップの裏面に載せられるかといいますと、今でもかなりの情報を裏面に載せていますので、新しいマップに載せるのか、別の手段でお知らせするかも少し今後検討させていただきます。よろしくお願ひいたします。どうもありがとうございます。

#### **(司会) 地区連合会長**

タイムライン等の話は地震のときを想定している避難訓練が多いのですが、洪水については地域限定ではありますが、もう少しお互いに理解を進めながらスムーズな避難ができるような形で実現できればと思います。

それから、境川の問題については、我々はいらいらするばかりで、100年待ってもだめかなという絶望的な感じがありますので、そこら辺はどうなのか私もよくわかりませんが、とにかくお願いするしかないというところです。

#### **下小山田町内会**

下小山田の〇〇です。

性格が悪くて、いつも市長をいじめるみたいな質問で申しわけありません。先ほどのモノレールの導入路線については極めていいお答えをいただきましたありがとうございます。ただ1つ、道路、155号線の一番狭いところを579

号線の後の計画はぜひやめていただきたい。579号線がなぜできないかという  
と、市の責任です。あそこをつくることについては東京都の環境局のフィン  
ガープランに入っていて、そこに今回の道路計画をやると完全に一致してい  
ません。民間でやると許可ですが、市でやると協議で終わると言っていなが  
ら、その協議が、当初は2020年までに完成するというので、まだ現実には協  
議が調っていない中で、できっこないです。579号はいつになるかわからな  
いのです。その579号ができた後にこちらの道路ではなくて、579号は、ごみの資  
源化施設には大事ですが、住民の安全からいけば手前の小学校前をまずやっ  
ていただくことが一番大事であって、579号が市の責任でできないというの  
は、私はいろいろ調べています。結論はそこです。地元の地主さんの協力が  
得られないというものはあるかもしれないけれども、それがあから協力が得  
られないのですから、これは市の責任です。そこははっきりしておきたいと  
思います。

あと、バス道路については、当面暫定をやったというのでは、とてもでは  
ないけれどもできないので、最初から16m道路を計画しないと無理です。そ  
れをやるためには、鶴見川の河川改修も凶師までは結構できたけれども、小  
山田はまだこれからです。そうすると、何年先かまだわからない中で、都道  
のすぐわき、小学校のすぐ近くに鶴見川の源流があります。そうすると、あ  
そこをやるには学校のほうに広げるしかないです。学校の校庭を一部道路に  
しなくてはならないのです。ということは、小山田小学校の校庭を少しでも  
道路に協力してもらおうとしたら、学校が存続できなくなってしまいます。で  
すから、先ほどの危ない学校、道路をつくりながら、それから、この質問の  
用紙の中に学校の北側に移転と書いてあるのですが、あれは原案では東側で  
す。東側も、道路について特別警戒区域に指定されてしまっているのです。  
そこを一部やるのは不可能なことで、全体を、あそこについては、学校をつ  
くる場所を造成しながら道路を広げないと無理なことですので、そう簡単に  
いく話ではないと思います。あそこ以外については、奥のほうは、学校から  
579号線に出てくるところまでは路線をある程度南側というか、東側に変える  
ことも可能かもわかりませんが、小学校までは現道を北側に広げるしか方法  
はないと思います。

そういうことで、私はこの会議に4回出させていただいて、もう来年は残  
念ながら出席できませんので、先ほどのいい答えをいただいたと当時に、そ  
れほど難しい答えではないです。来年度、測量ぐらいをして、道路計画のも  
とを準備していただくという答えをいただければ、私は大満足で、今日のこ  
の質問を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

## 道路部長

579号の1期、上小山田の山のほう、今、会長から言われましたフィンガー



プランの関係ですが、東京都の環境局と詰めて、今は多摩の環境局から本局に話が行って調整をしている状況です。それがまとまればフィンガープランの問題は解決するのかな。あと地権者の関係は残っていますが、今はそういう状況です。

579号の2期、小山田のバス停から大泉寺のほうにかけてですが、おっしゃるとおり早くやりたいというのはあるのですが、あとはやはり小田急線の延伸、あそこに駅ができる計画があります。そうすると、その駅前には駅前広場ができる。579号は都市計画道路と同じようなものになるので、それに接する形にしなければいけないとなると、小田急線の今後の延伸の進捗を見きわめながら線形を決めなければいけないのかなど。ですから、現況測量ぐらいはできるかもしれませんが、まだ本当の線形動向は、もうしばらくは。あと9年ということですので、お願いいたします。

## 下小山田町内会

下小山田の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

会長の話と同感なのですが、今日、上席に座られている方に対して非常に不満があります。毎回毎回こういう会を地域で行われて、その時々には検討中だとか、協議中だとか、そういう話ばかりなのです。もう少し地域で本当に困っている、長期計画で、あと何年先、短期の計画と長期の計画いろいろあるかと思えます。すぐ実現しやすいもの、実現しにくい難しいもの、先ほどの地権者等の問題、多々あるかと思えます。

そのような中で、やはり毎回毎回、顔を出すたびに検討中だ、協議中だ、その先がないので、今こうなっているのだということを、皆さんが時間を割いて来ているので、同じような返答は、はっきり言って控えてもらいたい。ぜひ進捗状況はこうなっていますよと前向きにいいお話を期待して、最後、少し違和感のある話で申しわけないのですが、よろしく申し上げます。

## (司会) 地区連合会長

ご意見として承りました。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

あと30分ほどありますので、20分ぐらいの間に報告をさせていただきたいと思えます。

その前に、川の問題については、本当に東京都とほかの県との間ではかなり差があります。実は今日、東京都議会に要望活動に行ったのですが、やはり北多摩でも埼玉県の河川整備がおくれている、なかなか東京都内に入って

くる、例えば清瀬だとか東久留米だとか、あの辺は埼玉との関係ですが、やはりここと同じようなことを言っていました。埼玉ができていないので東京都の改修ができない状況になっているようでございます。ここについても同じように都県境でなかなかできないということです。やはり思想的に川の場合は非常に冷たいのです。先ほど下水道部長から説明がありましたが、東京都と神奈川県の間には鶴間小学校があります。鶴間小学校はうちのほうですが、そこでかなり護岸が絞ってあります。どういうことかということ、下のほうが50mm対応になっていないので絞っているのです。もっと言うのは、鶴間小学校あたりであふれてもらうという計画です。ひどい話なのですが、まさしくそうなのです。

川というのは流域から、あちこちから次々に横の川が入ってきますよね。下へ行けば行くほど流量は大きくなります。流量が小さいうちにあふれてもらおうという、つまり下を助けるために上のほうは我慢してくれというのが川を管理する治水の大原則です。小さい被害で、被害が起こる前提でやっているということです。それでは本当に困るわけで、そのような冷淡な計画なのですが、実際上は下へ流さないようにしているのです。下に行けば行くほど流量が大きくなるから藤沢のほうの被害はもっと大きくなるということで、前のほうで、上で被害を受けてくれというのが現状です。これはとてもではないけれども受け入れられないということで私もやっていますし、相模原とも一緒に神奈川県副知事に要請をしているのですが、答えは大体もう決まっています、お金がないのですという答えしか来ません。何を言ってもそれしか答えがないと思っているのですが、これは何度でも言うしかないなどは思っています。

それでは、幾つか報告のようなことをさせていただきます。これはいつもご案内しているので、もうわかっているよというものからいきますと、今、新聞をとっている方は大体7割～8割です。あとの人は新聞をとっていません。広報はどうなっているかということ、取りに来てもらっているということです。こちらの裏面に表がついておりまして、例えば左側の上が鶴川地域、2番目が忠生地域と書いてありまして、広報が置いてあるところをずらっと並べてあります。三和木曾店、コープときわ店が一番下で、ここが一番上になっていますが、そこに広報は置いてありますということをご案内させていただきます。新聞をとっていないのが普通になりましたので、広報は折り込み方式なので、こういうところに置いてありますというご案内です。

それから、災害時の防災情報については、この紙の一番下に電話番号が書いてあるので、何を言っているかわからないときは0800-800-5181へ電話をいただければ明瞭な声で、電話で聞けます。そういうことも含めて幾つかの情報をここに出させていただきます。

それから、次に小さい冊子をお出しいただければと思います。これは何年

か前からやっている課別・事業別の行政評価シートのダイジェスト版ですが、市役所の事業について、いわゆる企業会計方式で、減価償却費も含めてどれだけコストがかかっているか、そのコストを何で賄っているかを説明する資料としてつくっているものであります。230ほどあるのですが、ここでは十何事業について表示しています。1つ、2つ説明をさせていただきます。

この小さいパンフレットの4、5ページを見ていただきたいと思います。1番の学童保育事業です。学童保育については、町田市では、1、2、3年ですが、希望者はほぼ全員が入れるようになりました。今課題は、4年生をどうするかということになっています。4年生を受ける学校と受けない学校といろいろあったのでは困るので、受けるとすれば4年生はみんな受けられますよという制度にしなければいけないのですが、教室が足りないところが結構あるので、その辺をどうするかという議論はあります。それで、学童保育については5ページの下の方、左側を見ていただきますと、これは平成29年度の決算ベースですが、現在、入会児童1人当たりコストは年間36万円、1人学童を預かりますと月額3万円かかるということです。上に円グラフがありまして、市税等、国・都支出金が緑と赤です。青が親御さんの負担で、育成料収入等で16%、6.1万円、1年間に36万円かかるところを、1年間に6万円をいただいている。つまり、月額3万円かかるところを5000円の負担で学童が運営されているということでございます。

それから、1つ飛んで3番、民間等保育所運営事業、保育・幼稚園課が担当していますが、8ページにあるとおり、年々入所児童の数がふえています。これも先ほどと同じように入所児童1人当たりコストがありまして、四角い箱の中にあるのですが、9ページの写真の左側です。こちらは1つ桁が大きくなりまして、保育園に1人預かりますと年間184万円かかるということで、月に直すと大体15万円になります。これも先ほどと同じように、どのようにして賄っているかというところ、赤いところ、厚生労働省の支出金と東京都の支出金で大体半分です。町田市が残りの半分の3分の2ぐらいで36.7%、お父さん、お母さんの負担は13%です。下のほうの箱の中にあるとおり、大体月間のコストが15万円となります。保育料収入は1年間で24万ですから、実際には月15万円のうちの2万円が保護者、残る13万円は税金という構造で保育園をやっています。結構お金がかかることもおわかりいただけるかと思いますが、この部分は毎年毎年100人、200人単位でふえていきます。とりわけ0、1、2歳は非常にお金がかかります。多分0歳だと、1人預かると1年間に300万円ぐらいかかります。これは3、4、5歳も入れた平均で約180万ですから、0歳というのは、1人の保育士が2人しか見られないので、かなりのコストになります。実は、今年4月1日現在で待機児童は146人です。146人の待機児童のうち143人が0、1、2歳です。非常にコストの高いところですが、これを来年4月に0にしようということで、0、1、2歳のところを200

人規模で今整備しています。この整備で来年4月、待機児童0になると言っているのですが、私は選挙のときに大体いつも待機児童0と言っているのですが、なったことがありません。今度こそ、4月に待機児童0にしたいと思っています。

ただし、この後まだ話がありまして、実は来年10月1日に消費税が8%から10%になります。8から10になると、その財源は何に使うのだという議論になりますよね。軽減税率のほうは税金が入ってきませんが、実際に増えた税収は何に使うのだというところで、1つは教育の無償化という方向が出ています。これで実は幾つか問題もあるのですが、それは別として、教育無償化の中でも保育料無償化があるので、これが認可保育所と認証保育所以外の無認可のところも無償化になるというところがあります。それは来年の10月からです。4月にもし仮に待機児童0になっても、10月になると、そちらから新しい保育需要が出てきます。保育料がかからないという前提ですから、何とか働きに出ようかというケースが来年の10月以降出てくるのかなと思います。ですから、4月1日に待機児童0になって半年しかもたないかなというのは、この新しい教育無償化の流れの中で、特に正規の保育所以外のところもただになる部分があるので、そういう無認可のところもただになるとすると、これはこれでまた待機児童が増えるのかなという心配をしています。それが保育の話であります。

このシートを見ていただきますと、どれだけお金がかかって誰が負担しているかを表示していますので、時間のあるときに見ていただければありがたいと思います。

それでは、違う話にまいります。清掃工場の話はもうあれなのですが、そのほかの話で野津田の競技場の話です。先ほどモノレールの話で、野津田駅をつくれという話があるのですが、野津田の競技場は、今お客さんが来るとすると基本はサッカーだけです。あと陸上の大会とか、パラ陸上とか、ラグビーの試合があるのですが、それはいつもあるわけではなくて、年に何試合もありません。したがって、あそこにモノレールを持っていっても乗るお客さんは2週間に一度しかありません。1週間ごとにホーム・アンド・アウェーといって、相手チームの本拠地でやる試合と、こちらでやる試合と1週間交代ですので、月に2回しかあそこにお客さんが来ないわけですから、毎日、朝昼晩走っているモノレールではありますが、2週間に一度、昼間だけ走るということでは採算が合うわけもないので、そういう意味では、野津田競技場の需要でモノレールが走るということは間違ってもありません。もちろん、そちら側を通るルートを考えろという議論はあるかもしれませんが、実際には、先ほど申しましたが、桜美林学園だとか、学校の需要がかなりあるので、野津田公園のほうに行ってもそんなに学校があるわけでもないのです。お客様がいない路線は選びようがないという意味で、そちらはありませんよという

こととお話ししました。

この野津田競技場については、モノレールの計画はしないつもりですが、そうではなくて、5000席を増やす計画を今やっています。これについては今年4月から設計作業をしています。来年の春、4月ぐらいまでかかりまして、その後、議会の予算を認めていただければ多分夏に5000席をつくる工事に入ると思います。現在、ゼルビアは順位が3位ですが、来年はJ1に上がらないことはもう決まっています。その次の来年の今ごろ、秋のライセンスがどうなるかはわかりませんが、実際に1万から5000プラスの1万5000にする工事が始まっていけば、J1のライセンスを出してもいいのではないかという議論もあるようです。したがって、完成していなくてもJ1ライセンスが認められる可能性があるということで、これは担保として建設会社と契約が終わって現場が着工していればということだと思いますが、その場合は、2020年2月の試合からJ1に上げれることになります。ゼルビアの成績が悪いと何にもならないので、そこは非常に難しいところですが、一応現在はそんなつもりで工事に入る予定になっています。今の予定ですと、今ごろはもう現場の座席をふやす工事をやっているだろうという段階であります。

それから、少し話が遠くなりますが、南町田にグランベリーモールというものがあまして、今度グランベリーパークという名前に変わります。モールとパークでは違うと思うのですが、モールは基本的に商店街という意味ですが、パークというと公園なので、商店街があるかどうかわからないですが、大体グランベリーとつければ商店街だろうということでパークになりました。しかも駅の名前も南町田グランベリーパークとして、平日も急行がとまるという計画をしまして、来年の、多分11月の後半だと思いますが、オープンをする予定になっています。この間、現場へ行きましたら、もうほとんどの建物は鉄骨が組み上がってしましまして、これから内装工事、外装がまだ残っているから、鉄骨は全て立ち上がっていました。あと1年で開業ということですから当たり前ですが、そんな状況になっています。

外からたくさんのお客さんが来るということもあって、最初はちょっと混むのかなと思いますが、1つの拠点ができる。その中にスヌーピーミュージアムというスヌーピーという漫画のキャラクターを入れる博物館ができる予定になっています。これもまた内外からたくさんの方が来ると思いますので、最初の半年ぐらいは混んでいて行くのも大変かなという気はします。

それから、学校設備について少しお話をさせていただきます。小学校、中学校についてはいろいろな要望が来ていまして、今年の夏で特別教室のエアコンについては、防音工事を行う町田第六小学校の1校を除いて終わりました。中学校は去年終わりました。したがって、エアコンについては職員室も特別教室も全て終わりました。全てと言いましたが、体育館はまだ終わっていません。というか、もともと体育館にエアコンを入れる予定はありま

せんでした。ただ、今年大変暑かったこともあって、東京都の各自治体では、東京都に対して体育館のエアコンを入れてくださいという要望を出しています。それが今残っていることです。

それから、もうご案内のとおり、小中学校の耐震計画は2010年に終わりました。その次に、先ほど言った普通教室のエアコンは2012年度に完了しました。その後、2017年度でトイレの切り替えも防音工事を行う町田第六小学校及び、改築工事を行う町田第一中学校以外の学校について全部終了しました。したがって、小中学校の関係では先ほど言った体育館のエアコンだけが残っている。体育館は実際に避難施設として機能しますので、うんと暑いときや、うんと寒いときに避難をするのは、避難したところでまた病気になってしまうということもあるので、エアコンを入れるのは必要かなと思っていますが、そんなに先立つものがないので、東京都や国からの支援をいただいてやろうかなと思っています。

最後に特別養護老人ホームの話ですが、今年の9月、グランハート悠々園というものが木曾山崎団地の中にできました。90名定員ですが、大型の特別養護老人ホームの整備はこれで最後であります。あとは小規模の施設になります。今年のグランハート悠々園ができる前の調べですが、去年の調査で、申し込みから1年以内に入所した人が大体90%になりました。9年前、2009年の調査では、施設側に申し込みをしてから1年以内で入れたケースは45%でした。去年の段階では約90%になりましたので、大体ほとんどの方は申し込んでから半年以内、1年で入れる、それも市内の特別養護老人ホームに入れる状況になっています。ここについては当たり前だろうと言われるかもしれませんが、東京都23区はもうほとんど可能性はありません。圧倒的に足りません。それから、東京の立川より東もなかなかできない状態です。23区はもう大体都外に行ってくださいというお答えになってしまいます。栃木や群馬になります。それが普通になってきたので、市内に1年以内に入ってしまう市は、立川より東ではほとんどないと思っていただければいいかなと思っています。

大変長くなりましたが、とりあえず報告でございます。

## 《質疑》

### 根岸町内会

根岸町内会の〇〇です。

私のほうの町内会は、区画整理で本当に道路がきれいになって、整備されて、特に町田街道と駅前通りの間に並行して走っている淡嶋通り、昨年、愛称名もつけていただきまして、ショッピングセンターもできて、町民だけではなくて多くのいろいろな方が訪れて、本当にいい道です。その南側にも市道があるのですが、実はその桜、彼岸桜がこの間の10月4日、5日に市の判

断で全部伐採されました。それは、区画整理されて、大体ずっと順調に育っている木が多いのです。20cmくらいの木なのですが、中には途中で枯れて植えかえたということで5～6cmの木もあります。5年ぐらい前に私は、植栽があって、その上に桜が植わっているのですが、生えていないところについても何とか桜を全部きれいに植えてくださいと要望も出して、道路部の方から、市の予算もなかなか難しいということと、私どもが考えている視点は、維持管理、いわゆる落ち葉などのこと、私の家もたまたまそこに面しているところなのですが、落ち葉だとか、若木の実だとか、いろいろなことでメンテナンスも大変なのです。市民の立場でまたいろいろボランティアで協力させていただきまして、何とかきれいな桜の町並みがあります。その桜が1本も残らず全部伐採されてしまいました。

私は3カ月ぐらい前に、根腐れしたところがあって何本か切りますという話は伺いました。市のほうでも札を立てて、何本か切りますということで、それは承知していました。この切った理由ですが、台風21号と24号で大分桜の木が折れて、被害もあったという理由でした。実は私の家にも前の日かな、4日か5日に電話がありまして、ちょうど私は留守にしている直接お話を聞けなかったのですが、その後、次の日が体育祭の準備日で、次の日が体育祭で大勢の忠生市民の方がテントに集まったときに、根岸のテントだけではなくて、皆さん、あそこの桜が切られたという話で持ちきりでした。知らないのは私だけで、町内会長というのは何だろうということで、本当に私は思いました。

まず、切った組織の、どういう段階で全部伐採しろという判断がされたのかということ、それから、それを地元の方に連絡しなかったのでしょうか。それと、1m足らずで今切っているのですが、今後、その桜をどうしようとするのか、その点について伺いたいと思います。私は、組織の段階ということで、部長の仕事目標というものが毎年出ていますよね。トップマネジメントとか、目標管理だとか、組織マネジメントというところがあって、道路部長さんを見せていただきました。本当に丁寧に書かれていて、部の目標だとか経営課題を、項目をわざわざ列記してありましたが、なかなかそれが職員さんに浸透していないという、貢献度が60%というので、すごく低いなと思って、市長さんが一生懸命いろいろな目標を掲げているのに、きちんとされているのが60%、70%にしたいよということで2020年までの目標を掲げているのを見ました。そういうことと関係あるのかなと思ったりしましたが、そのあたりの市の考え方をお聞かせ願いたいと思います。

#### (司会) 地区連合会長

この桜は、実は私も孫の送り迎えのとき、春過ぎに見事な桜並木になっています。この間、さくらまつりの委員会に出ています。そのときにも話題

になって、桜をベースに観光まちづくりをしようということを一方向で言っているのに何だあれはということで非常に憤慨している人が多くて、これはまだ部長のお耳に達しているかどうかは別にして、そこら辺、もし何かご存じでしたらお願いします。

## 道路部長

桜の木の伐採の件ですが、会長に連絡をしたとは思いますが、直接お話ししていないということについては大変申しわけなく思っております。何で今回伐採したかですが、台風21号が来たときに何本か倒れました。あそこのショッピングセンターに入っていく車に直接落ちて車が傷ついたような事故もあったと聞いております。その後、21号が終わった後に特に悪い木は切る予定でしたが、時間が間に合わなくて24号がその間に来てしまいました。そのときもどんどん倒れていたということで、その後に、樹木医にあそこの全部の桜を見てもらいました。その結果、あそこの桜は非常に不健全で全部危ないという結果になりました。これがなぜかということですが、恐らく最初の区画整理をやったときの苗自体に問題があったのではないかとというのが樹木医による診断の結果です。これは、このまま伸ばしていても必ずみんなそのうちに倒れてしまうということで話があったものですから、こちらを管理しているのは道路維持課ですが、維持課長は造園の人間です。専門職なのですが、その後、私と話しまして、あれはもう危険であるから、これでもし事故になってしまってもは大変困るので伐採しようということで、あそこの当時同じ時期に植えた桜については、今回伐採という対応をしました。

今後については、また同じように桜を植えることになると思うのですが、まずは今1 mぐらいあるものを抜根しなければいけなくなります。抜根というのは全部掘るのではなくて、筒状のものでずっとやっていくと根だけがとれるやり方もあるということなので、そういった方法で桜をまた改めて植えたいと思います。どういう桜を植えるかにつきましては、今後また地元の方々とも協議をしながら調整していきたいと思っています。結果的には、桜を植えることで今考えております。

## (司会) 地区連合会長

ぜひ地元との協議といいますか、相談をしながら進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

## 下小山田町内会

私は今、下小山田の町内会の役員で、上小山田の町内会長と相談して、特に北部丘陵の今の状態を市民の皆さんが本当に楽しんでいただける、市民でなくて都民、国民も楽しめるような場所だと思っております。それをやるために、



また地域の人も住み続けられないという人が多いのは、前に小山田会館と一緒に来ていただいたときに地元の人に説明していただいたのですが、田中谷戸街づくり協議会は10年前ぐらいからあったのですが、やっと下小山田も上小山田と同じ区域であわせて中部街づくり協議会、それから、多摩丘陵病院のほうの大龍地区街づくりを考える会という、市の住みよい街づくり条例に基づく団体をつくりました。そこで、いかにしてこの小山田を自然あふれたすばらしい環境で皆さんにやっていただこうということになっているのですが、ここでまた申し上げにくいことなのですが、北部丘陵担当の課があったのが、実際には農業振興課に移管されて、その立場でやっています。活性化計画というものがありまして、農と緑なのです。農業が一番やれない場所が小山田地域です。ろくな農地がなくて、田んぼも谷戸も全部、当時の減反から始まって、ごく一部で稲があるのですが、あの全体をいかによくするかが市にとっては、北部丘陵担当の部署なのですが、先ほど、部長の仕事目標の中にも、あれを完全に100%やっても地元にとっては何にもなりません。全く地元を無視した、市がURから買った土地を、農地や山林をいかにして有効に使うかで全てです。そのほかについて、あれはもう小山田に住む住民としては全く利益にならないです。将来のまちづくりにとって逆にマイナス効果。ですから、あの組織は、都市づくり部で担当していただいて、地区計画を一番重点的にお願いして、あそこは本当に町田のためではないです。東京都全体、国のためのような施設にするためには、そういうことでないと一向に進まないの、ぜひ北部丘陵担当のところも大きく地元で喜ばれるような仕事をやっていただけの部署にさせていただきたいと思っています。

その中に1つは、やはり大規模な土地を公有地化して、公園とか緑地にする場所を多くとることだと思います。できればそこにサッカーの1部の——どこに行っても、あそこのような地形で1万5000人が、試合が始まる1時間前ぐらいから集まって、終わったらみんな帰るというのは無理です。モノレールができて何人運べますか。だから、あそこに1部リーグをやること自体が無理なのです。私も野津田公園の用地買収を7～8年やってきましたが、あれは町田の子どもたち、また、町田の社会人が使う場所として、今、サッカーを含めて、365日のうち市民が使えるのは20日間です。あとはゼルビアが使うために、いいグラウンドを確保するために使えていないのです。小野路球場のわきにあるサッカー場も下部組織が使っています。

ですから、野津田公園などは市民に返してもらいたい。そして、小山田の北部丘陵地域に、電車から降りて歩いて行けるようなところ、それは唐木田の駅もあるし、小山田新駅のところからも歩いて行けるようにすれば、調布も駅からおりて味の素のグラウンドまで歩いて数分で行けるところにあるのが現状ですよね。だから、野津田公園は、本当はもう今まで進めてしまっているから何ということと思うのですが、私は、本当は反対の請願を出そうと

思って集め始めたのですが、市長さんとけんかをすると小山田の地域のためにやってくれないから、みんながやめろと言うので、とったものを皆さんに断って請願をやめました。議員さんも困ってしまうと思うので。請願に反対したら、それこそ議員さんも大変な立場になると私は確信していましたので、そういうことを含めて、ぜひこの小山田の北部丘陵の調整区域で、本当に当初の約束と全く違った方向に行ってしまう地域を少しでも住民の人がよいということは、本当に市民、都民、みんなのすばらしい、昭和記念公園などは完全に無視したような、北部丘陵の中の地域にいい緑が残ればすばらしいところになりますので、ぜひ地域から喜ばれる北部丘陵担当の部署を都市づくり部でよろしくお願いします。

#### **(司会) 地区連合会長**

中丸会長が最後のお願いということで、思いを言っていただきましたが、これは何かコメントされますか。

#### **都市づくり部長**

今、〇〇会長からいろいろなご要望をいただいたところですが、このお話は、まずは個別要望でいただいています、農業振興課から会長にお答えはしているところだと思っております。地域の緑を生かしながら、地域の方がこれからも住んでいけるために、都市づくり部では調整区域の地区計画という手法を今、進めているところです。その中では、地域の方がどういう町を望んでいるか、それを具体的に実現していくため、たとえば家を建てていくことができるか、それらは地域の方とこれからしっかりと協議を進めながらやらせていただきたいと思っていますので、北部の土地の話はまだ据え置きながらも、地域の方々とお話しを進めさせていただきたいと考えております。

北部の課題については、当然〇〇会長は十分ご存じだと思いますが、URとの土地の後始末の話もございます。どのようにしてやっていくのかは、これから大きな課題として町田市も認識していますので、引き続き検討を進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

#### **(司会) 地区連合会長**

いずれにしましても、できる限り地元との対話を切らさないような形で今後お願いしたいと思います。

#### **○閉会の挨拶（忠生地区町内会・自治会連合会副会長）**

どうも皆さん、遅くまで長時間にわたりましていろいろ有意義なご意見をいただき、また、市長さんを初め各担当の部長様方にもいろいろ我々の言っていることをご理解いただいたと思います。先ほど、一部の方からご意見を

いただきまして、私も同感ですが、この要望書に関して、今お話しいただいたことを聞いたのですが、申し訳ありませんが、全部は覚えていませんし、みんな抜けていますので、ぜひ文書で正確なご回答をお願いしたいと思います。先ほど申しましたように、検討中など、そういうものを、ある程度詳細を、市でもいろいろシークレットの部分もあると思うので、わかる範囲でいいので、それをはっきりと皆さんにわかるような形でご回答いただければ、今日の会議も意義ある会議となると思いますので、ひとつその点をよろしくお願いいたします。

本当に長時間にわたりまして、各部長さん、市長さん、ありがとうございました。また、ご出席の皆さんも大変遅くまでありがとうございました。これで忠生地区の市政懇談会を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

以上